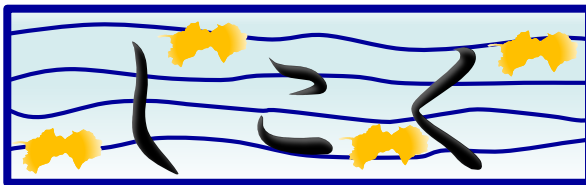


主な記事

- | | |
|-------------------|------|
| 第14旅団長年頭の辞 | (1面) |
| 四国4県知事新年の挨拶 | (2面) |
| 四国4県協力会会長新年の挨拶 | (3面) |
| 陸上自衛隊地方協力本部長新年の挨拶 | (3面) |
| 第14旅団部隊長等新年の挨拶 | (4面) |



令和4年(2022年)1月1日 第171号

旅団長統率方針「任務必成」
旅団長要望事項「プロであれ」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1
電話：0877-62-2311(内2256・2257)
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

香川県「我拝師山(捨身ヶ岳)からの日の出」

迎

春

年頭の辞

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、令和四年の清々しい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、平素より第十四旅団に対する格別のご協力とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、世界的大流行となった新型コロナウイルス感染症は、日常生活を含む様々な社会活動に大きな影響を及ぼしており、自衛隊としても重大な関心をもって引き続き注視していく必要があります。また、わが国を取り巻く安全保障環境は一段と厳しさを増し、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の出現により、ハイブリット戦という現代の戦いを招来し、平時か有事かを明確に区別できない「グレーゾーン」の存在を際立たせています。この状況下、我々が任務に就く際に与えられる時間はわずかであることから、「即動」できる能力を保持することが重要であり、それが機動旅団たる第十四旅団の価値であると認識しています。

旅団は、平成三十年三月に高い機動展開能力を有する機動旅団に改編されて以来、令和四年三月で五年目を迎えます。これまで、民間力を含む陸・海・空の輸送手段を使用した機動展開訓練等を通じて着実に機動旅団として練度向上及び戦力化を進めてきました。

昨年、旅団は、約三十年ぶりに実施された陸自史上最大規模の「陸上自衛隊演習」に参加し、各種事態に実効的に対応するための抑止力・対処力を強化するとともに、国内における米陸軍との実動訓練及び豪州における米豪軍との実動訓練を通じて共同作戦における連携要領等の深化を図りました。

国際貢献においては、昨年の一月から八月までソマリア沖・アデン湾における海賊対処のために第十五次派遣海賊対処行動支援隊要員として旅団から七十五名の隊員を派遣しました。同支援隊は、ジブチ国際空港内に整備された活動拠点において、海自航空隊の警備や拠点の維持管理などを担う部隊であり、気温が五十度を超えることもある厳しい環境の中、無事に任務を完遂し、帰国することができました。これもひとえに皆様方からの激励及びご支援があったることと感謝申し上げます。

各種災害等への対応においては、引き続き、南海トラフ地震をはじめとする各種風水害等の自然災害に対しても迅速かつ的確に対応するため、各種防災訓練を通じて、災害対処能力の実効性の向上を図るほか、国や四国四県等との連携強化に努めて参ります。

本年も第十四旅団は、任務を必ず達成するため、努力して参る所存でありますので変わらぬご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。



第十四旅団長

陸将補 遠藤 充

四国4県知事

新年の挨拶



徳島県知事

飯泉 嘉門



明けましておめでとうございます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様、並びにそのご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお健やかに迎え、我が国を取り巻く「安全保障環境」は、北朝鮮の弾道ミサイル誇示、中露合同艦隊の日本周回、東シナ海をはじめ我が国周辺海域における中国の活動の活発化など、これまで以上に厳しさと不確実性を増しております。
自衛隊には、ますます高度な即応性と強靱性が求められており、皆様におかれましては、より実践的な厳しい訓練など、日夜任務に精励されておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。
加えて、私たちの生活を一変させた国難「新型コロナウイルス感染症」への対応や、昨年七月、静岡県熱海市を襲った土石流はじめ自然災害における人命救助活動、これからシーズンを迎える鳥インフルエンザへの対応など、国民の安心・安全のため、献身的に活動される自衛隊の皆様の方に、国民の信頼と期待は一段と高まっております。
本県におきましては、頻発化・激甚化する「豪雨災害」はもとより、切迫する「南海トラフ巨大地震」や「中央構造線・活断層地震」など、大規模災害への備えが喫緊の課題であります。
こうした大規模災害を迎え撃つため、「徳島県国土強靱化地域計画」に基づく「災害に強い県土づくり」や、市町村との連携による「事前復興」の全県展開など、「防災時の死者ゼロ」を目指して、ハード・ソフト両面からの対策を加速させております。
しかしながら、いざ災害が起こった場合、被害を最小限に留めるためには、第十四旅団の皆様のご協力が不可欠であります。皆様には、今後とも、「安全安心・強靱とくしま」の実装に向け、なお一層のお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。
結びに、陸上自衛隊第十四旅団のさらなるご発展と、皆様の今後ますますのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



香川県知事

浜田 恵造



新年明けましておめでとうございます。
令和四年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様におかれましては、我が国の周辺における安全保障環境が厳しさを増す中、国民の安全を確保し、ひいては我が国の未来を守るため、日々、業務に精励されとともに、人命救助や復旧支援活動に携わるなど、住民生活の安定と地域の安全・安心に極めて大きく貢献されておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。
また、香川県におきましても、一昨年、高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生した際の迅速な防疫対応をはじめ、各種の防災訓練などに格別のご理解とご協力をいただいており、厚くお礼申し上げます。
さて、近年極めて大きな被害をもたらす風水害等が全国各地で発生するとともに、南海トラフ地震の今後三十年以内の発生確率が七十パーセントから八十パーセントと高まる中、様々な種類の大規模災害への対応力をより一層強化していく必要があります。
本県では、地震・津波対策や治水対策などのハード面での整備を着実に進めるほか、防災教育の促進や、シェイクアウトの全県実施、備蓄物資の整備、防災アプリ「香川県防災ナビ」の導入などのソフト面においても、県民の方々の命を守るため、緊張感を持ちつつ、防災・減災のための対策を推進しています。
こうした対策を推進していくためには、災害発生時や有事の際に危険を顧みず、住民保護や国防のために献身的に活動される自衛隊をはじめ、防災関係機関との連携が何より重要です。
どうか、皆様方には、我が国の平和と安全を守るとともに、危機への備えを万全なものとし、子どもからお年寄りまですべての人が、安心して健やかな日々を過ごすことができる、せとうち田園都市香川の実現に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
今年が、災害や交通事故のない、明るく笑顔で過ごせる年になりますよう念願いたしますとともに、高度な即応性と機動性を備えた第十四旅団がますます発展されること、並びに皆様方のご健勝、ご活躍、交通安全を心からお祈りいたします。



愛媛県知事

中村 時広



明けましておめでとうございます。
令和四年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様方におかれましては、四国地域の防衛・警備はもとより、災害時の救命救助・復旧活動など、国家の平和と安全、国民の生命と財産を守るといふ崇高な任務に精励されており、深甚なる敬意と感謝の意を表します。
また、愛媛県が実施する総合防災訓練や原子力防災訓練に御参加いただくなど、本県の防災行政の推進に格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、我が国では、昨年も記録的な大雨によって、九州地方や静岡県を中心に甚大な被害が発生するなど、台風や集中豪雨による災害が頻発・激甚化しているほか、近い将来、南海トラフ地震の発生も懸念されており、防災・危機管理体制の強化は喫緊の課題となっております。
こうした状況の下、本県におきましては、県政の三本柱の一つに「防災・減災対策」を掲げ、増大する災害リスクから県民の安全・安心を守るべく、緊急避難道路や河川、砂防堰堤、港湾等の公共土木施設の整備・改修、自主防災組織の中核を担う防災士の養成など、ハード・ソフト両面にわたる各種施策を推進しているところです。
更に、新型コロナウイルスの感染拡大により、災害時の避難の在り方にも、大きな影響がおよぶ中、コロナ禍に対応した避難体制の確立を目指し、分散避難をはじめとした適切な避難行動の県民への周知、衛生資材の備蓄などに努めており、今後とも、「防災対策に終わりはない」との認識の下、災害に強い地域づくりにも全力を挙げて参る所存です。
もとより、これらの施策を効果的に推進するためには、自衛隊の方々の御支援、御協力が不可欠であり、皆様方におかれましては、引き続き、地域に愛される四国の郷土部隊として、住民の安全・安心の確保に御尽力をいただき、「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
結びに、陸上自衛隊第十四旅団のますますの御発展、並びに皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。



高知県知事

濱田 省司



新年明けましておめでとうございます。
令和四年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様方におかれましては、我が国の平和と国民の生命・財産を守るため、日夜、国土防衛や災害対応の任務に精励されておりますことに、心から敬意を表します。
本県では、甚大な被害が想定される南海トラフ地震対策や豪雨対策に総力を挙げて取り組んでおり、人命救助や応急・復旧対策を迅速かつ効果的に行ううえで自衛隊の皆様からのご支援は大変重要であります。
そのような中、日頃より多くの隊員の皆さまには、県内で行われる様々な防災訓練など、本県及び県内市町村の職員とともに地域の方々を守るための活動に取り組んでいただいておりますことを心強く感じております。
さて、近年では、全国各地で豪雨による災害が頻発・激甚化しております。昨年七月には、静岡県熱海市で大雨により大規模な土石流が発生し、多くの生命と財産が奪われるなど、甚大な被害が発生しました。このような豪雨災害に加え、南海トラフ地震などの超広域にわたる大規模災害の発生も危惧されており、本県を取り巻く自然災害のリスクはこれまで以上に高まっていると考えております。
これらの自然災害から、県民の生命や財産を守り、経済や社会活動を維持、発展させていくためには、引き続き、ハード・ソフト両面で様々な対策を加速し、安全、安心な高知を実現していかなければならないと、その決意を強くして取り組んでいるところです。
こうした取り組みを着実に進めていくため、第十四旅団の皆様方におかれましては、引き続き、ご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。
今年が、第十四旅団の皆さまに幸多き年となりますとともに、ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は皆様から格別のご高配を賜り心から御礼申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックも丸二年経過しました。この間、各種イベントや行事が中となつて皆さまとの交流も疎遠となり、高知地方協力本部の活動にも制約を受けました。また、令和二年に行われた国勢調査では高知県の人口減少はさらに進み、募集対象となる年齢人口も同じ傾向です。自衛官募集や退職自衛官の就職援助、整備自衛官の管理ともに厳しい状況が続きます。

高知地本の部員一同、私達の使命である「高知県から若い人材をお借りし、高知県にきちんとお返しする」を肝に銘じ精進する所存ですので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い致します。

皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

